

教科	科目
国語	現代文B
単位数	必修・選択(枠)
2単位	3年次必修

教科	科目
公民	現代社会
単位数	必修・選択(枠)
2単位	3年次必修

履修条件等

履修条件等・・・特になし

履修条件等

履修条件等・・・特になし

人数制限・・・特になし

学習内容等

科目の目標... 実社会で必要とされる基本的な日本語力をしっかりと定着させる。読解力と表現力を養う。また、入社試験・面接試験に対応できる力を養う。

人数制限・・・特になし

学習内容等

科目の目標... 倫理・社会・文化・政治・経済などを学ぶことを通して、現代社会への関心を深め、理解する。

授業形態...

年間授業計画	
4月	○随筆:筆者の体験,主張を的確に読み取った上で,自分の体験を振り返る。
5月	○小説①:登場人物の行動とその意図を読み取る。
6月	○実用文①:封書の書き方を知る。
6月	○評論①:具体と抽象,因果関係などを読み取り,筆者の主張をとらえる。
7月	○詩:表現に注目し,詩に込められた作者の思いを読み味わう。
10月	○評論②:各段落を簡潔にまとめ,各段落の関係を捉えて筆者の主張をとらえる。
11月	○小説②:登場人物の置かれている状況や気持ち等を的確に読み取ることができる。
12月	○評論③:文末の表現や構成をふまえ,筆者の主張を的確に読み取る。また,本文の内容に即して自分の考えをまとめ,適切に表現する。
1月	○実用文②:葉書の書き方を知る。
2月	

授業形態... 一斉授業

年間授業計画	
4月	エネルギー・環境問題,生命倫理をめぐる問題など,現代の社会問題を知る。青年期はどのような時期かについて深く考察する。
6月	日本国憲法と人権,日本の政治機構,国際政治について学び,現代の民主政治と政治参加の意義・日本の役割を理解する。
10月	経済や国際経済の基本的な仕組みについて学び,経済が私たちの生活にどう関わっているかを理解する。
12月	西洋・東洋思想について学び,民主社会に生きる人間としての在り方・生き方を身につける。
2月	

観点別評価規準・評価項目

関心・意欲・態度	文章を表現に即して読み,ものの見方,感じ方,考え方を広げたり深めたりしようとしている。 出席状況,授業への取り組み,提出物
思考・判断・表現	文章を読み,自分の考えを適切に表現したり,深めたりすることができる。 定期考査,課題,ノート
技能	文章の内容を叙述に即して的確に読み取り,それをもとに適切に書いたり話したりできる。 定期考査,ノート
知識・理解	語句の意味,用法および表記の仕方などを理解し,語彙を豊かに身につけている。 定期考査,小テスト,ノート

観点別評価規準・評価項目

関心・意欲・態度	現代社会の基本的な問題に関心を持ち,意欲的に授業や課題に取り組んでいる。 出席状況,授業への取り組み,提出物
思考・判断・表現	社会問題の解決方法には様々な立場・考え方があつたことを理解し,自分なりの考えを持っている。 定期考査,レポート
資料活用の技能	図やグラフ,写真などいろいろな資料を活用して学ぶ技術を身につけている。 定期考査,資料の読み取り,ノート
知識・理解	現代社会の基本的問題と人間としてのあり方生き方に関わる基本的な知識を身につけている。 定期考査,小テスト,ノート

考査点と平常点の割合

考査:6割 平常点:4割

考査点と平常点の割合

考査:7割 平常点:3割

使用教材等

教科書...第一学習社『高等学校 標準現代文B』
(2年次購入済み)
副教材...東京書籍『新総合図説国語』
(1年次購入済み)

使用教材等

教科書...第一学習社『高等学校 改訂版 新現代社会』
地図帳(1年次購入済み)

進路・資格等

卒業後の進路...どのような進路でも必要とする力を身につける教科である。

進路・資格等

卒業後の進路...特になし

関連資格...特になし

関連資格...特になし

教科	科目
数学	数学A
単位数	必修・選択(枠)
2単位	3年次必修

教科	科目
理科	地学基礎
単位数	必修・選択(枠)
2単位	3年次必修

履修条件等

履修条件等・・・特になし

人数制限・・・特になし

学習内容等

科目の目標... 基本的な知識と技能を身に付け、事象を数学的に考察する力を培う。数学のよさを理解するとともに、それらを活用する態度を養う。

授業形態... 一斉授業

年間授業計画	
4月	整数の性質 整数の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようになる。
5月	
6月	図形の性質 平面図形・空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようになる。
9月	
10月	高校数学の総復習 高校での学習内容について復習する。
12月	
12月	高校数学の総復習 高校での学習内容について復習する。
2月	

履修条件等

履修条件等・・・特になし

人数制限・・・特になし

学習内容等

科目の目標... 地球物理、地質・地史、大気・気象、天文についての基礎的知識を身につける。また、各分野の実験等を通して、現象の観測やデータの整理・処理の方法や、科学的な見方や考え方を身につける。

授業形態... 一斉授業、実験(個別、グループ)、野外観察

年間授業計画	
4月	【地球の構成と運動】・・・「地球の形と大きさ」「地球内部の構成」「火山と地震」「プレートの運動」など、地球物理分野の基礎を学ぶ。
5月	
6月	【地球の変遷】・・・「地層と化石」「古生物の変遷と地球環境」など、地質・地史分野の基礎を学ぶ。
9月	
10月	【大気と海洋】・・・「大気の構造と運動」「大気の大循環」「海洋の構造と海水の運動」など、大気・気象分野の基礎を学ぶ。
12月	
12月	【太陽系と宇宙】・・・「太陽系の中の地球」「太陽とその進化」「宇宙のすがた」など、天文分野の基礎を学ぶ。
2月	

観点別評価規準・評価項目

関心・意欲・態度	数学に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを活用しようとする。 出席、授業への取り組み、ノート
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、試行の過程を振り返ることができる。 授業への取り組み、ノート
数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 定期考査、小テスト
知識・理解	基本的な概念・原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。 定期考査、小テスト

観点別評価規準・評価項目

関心・意欲・態度	身のまわりの地学現象や事象に関心をもち、意欲的に探究しようとする。 授業や課題への取り組み、提出物
思考・判断・表現	地学現象や事象について、実験や観察等で得られた結果を科学的に考察し、適切に表現できる。 定期考査、実験レポート
技能	実験や野外観察等において、結果を導くために正しく安全に活動することができる。 定期考査、実験レポート、野外観察記録
知識・理解	地学現象や事象について、原理や法則などを理解している。 定期考査、実験レポート

考査点と平常点の割合

考査:6割 平常点:4割

考査点と平常点の割合

考査:7割 平常点:3割

使用教材等

教科書・・・実教出版「高校数学A 新訂版」
副教材・・・実教出版「ステップノート 数学A」
(教科書も副教材も2年次で購入済みである)

使用教材等

教科書・・・実教出版「地学基礎 新訂版」
経費・・・ファイル代

進路・資格等

卒業後の進路・・・就職・進学

進路・資格等

卒業後の進路・・・就職試験や進学試験に対応する。

関連資格・・・特になし

関連資格・・・特になし

教科	科目
保健体育	体育
単位数	必履修・選択(枠)
3単位	3年次必履修

履修条件等

履修条件等・・・特になし

人数制限・・・特になし

学習内容等

科目の目標... 運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わう態度を養う。

授業形態... 一斉授業

年間授業計画	
4月	バレーボール(男女) 集団競技の特性を生かし、仲間とのコミュニケーションや声かけなどの態度を養う。実技においては、3段攻撃を理解し、実践できる能力を身につける。
6月	水泳(男女)では、理想的なフォームを理解し、合理的な泳法を身につけ、長い距離を泳ぐことができるようにする。バスケットボール・バレー・サッカー(男女)のいずれかを選択し、技術を向上させるようにする。
10月	卓球(男女)では基本的な技能を身につけ、シングルでのゲームを行う。バドミントン(男女)ではダブルスのルールを覚え、ゲームを行う。
12月	選択(男女合同教習)(バドミントン 卓球 バレーボール バスケットボール)では、自ら進んで取り組み、技能向上につなげる。
2月	

観点別評価規準・評価項目

関心・意欲・態度	運動の楽しさ喜びを味わうために意欲的に活動できる。健康、安全に配慮できる姿勢を持っている。 出席、授業への取り組み
思考・判断・表現	体力や技能を高めるために運動を計画的に工夫している。 授業への取り組み
技能	運動の実践を通じて、段階的な技能を身に付けている。 実技試験
知識・理解	運動の技術の名称や行い方を正しく理解し、効果的な練習を工夫している。 実技試験

考查点と平常点の割合

考 査:実技4割 平常点:6割

使用教材等

教科書・・・大修館書店「最新高等保健体育改訂版」

進路・資格等

卒業後の進路・・・特になし

関連資格・・・特になし

教科	科目
外国語	コミュニケーション英語 I
単位数	必履修・選択(枠)
2単位	3年次必履修

履修条件等

履修条件等・・・特になし

人数制限・・・特になし

学習内容等

科目の目標... コミュニケーション英語基礎で学んだことを土台として、標準的な英語力の習得を目指す。英語の4技能をバランスよく身につける。

授業形態... 一斉授業・ペアワーク

年間授業計画	
4月	コミュニケーション英語基礎で学んだことを復習しながら 比較、現在完了、不定詞の構造や語法を身につける。内容を的確に理解する。
6月	コミュニケーション英語基礎で学んだことを復習しながら 関係代名詞、過去完了の構造や語法を身につける。内容を的確に理解する
10月	コミュニケーション英語基礎で学んだことを復習しながら 文型SVOC、文と文をつなぐ語句の構造や語法を身につける。内容を的確に理解する。
12月	コミュニケーション英語基礎で学んだことを復習しながら 現在完了進行形、過去完了進行形、助動詞を含む受動態、関係代名詞what、分詞構文の構造や語法を身につける。内容を的確に理解する。
2月	

観点別評価規準・評価項目

関心・意欲・態度	「書くこと・話すこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 出席状況、授業や提出物への取り組み
思考・判断・表現	語句や活用法などの知識を用いて正しく英語で表現している。 定期考査、発表、会話、プレゼンテーション
技能	辞書を活用して正しい英文を構成している。 資料の読み取り
知識・理解	文構造や語句、語法などに関する知識を正しく身につけている。 定期考査、小テスト

考查点と平常点の割合

考 査:6割 平常点:4割

使用教材等

教科書・・・数研出版「Revised BIG DIPPER English communication I」
(2年次購入済み)
副教材・・・三省堂「エースクラウン英和辞書」
(1年次購入済み)

進路・資格等

卒業後の進路・・・進学・就職等の必須科目

関連資格・・・特になし